

# 「印西市地域福祉計画策定のための地域懇談会」

## 実施概要

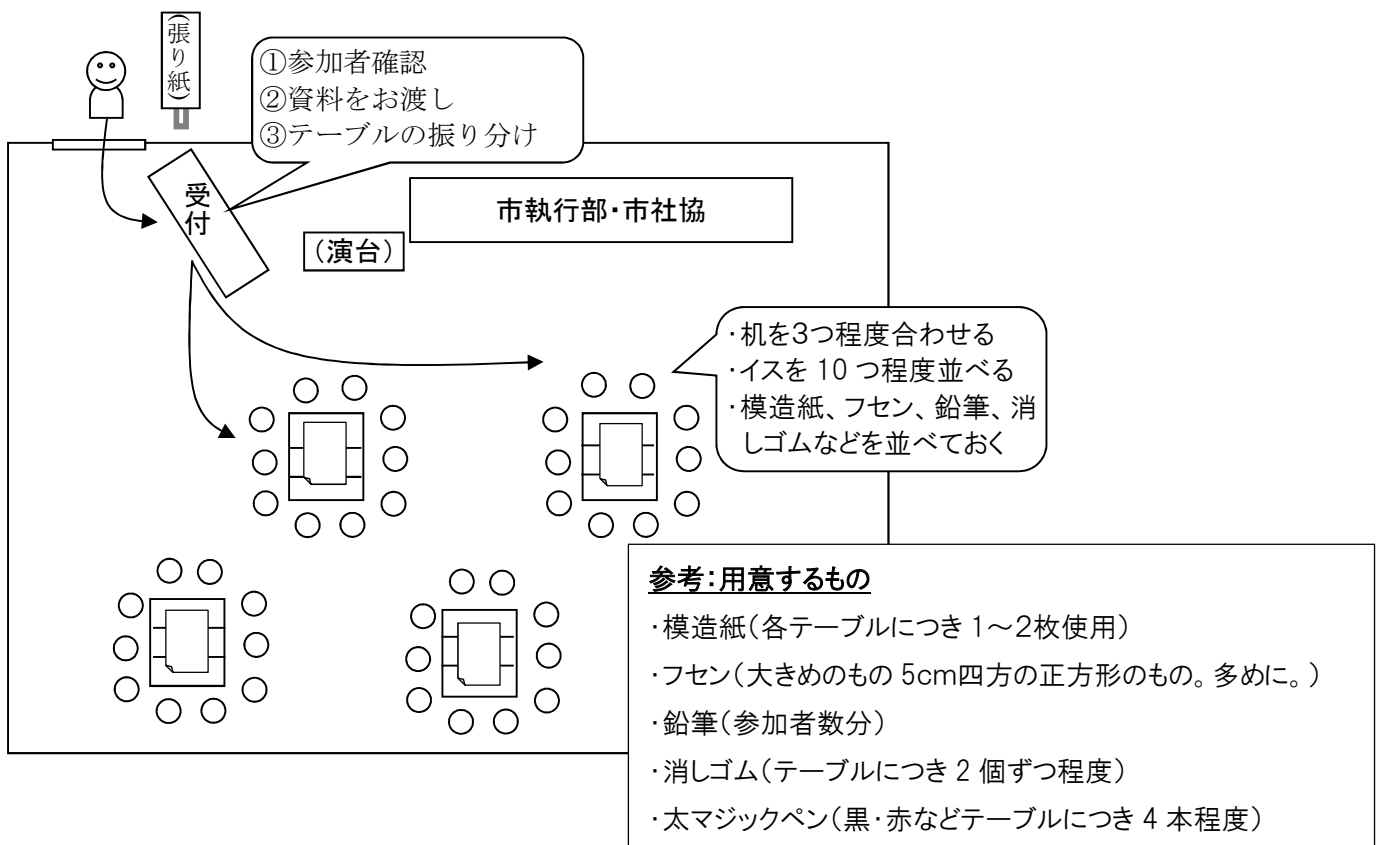
### 1 地域懇談会の実施概要

“深める”                      “広げる”

現在地域福祉の活動を積極的にしている人・団体同士がネットワークをつくり、共通の認識を持って、今後の地域福祉活動をより一層深めるための懇談会とする。

	実施概要
ねらい	・地区で実際に活動している方々にご参加いただき、市内の現状や共通の課題について共有し、一緒に考える場とする。
期待する効果	・共通の課題を共有する。 ・新たな活動のアイデアが生まれる。 ・今後の実際の活動へのきっかけづくりとなる。
参加者	<u>【各地区 15～30 名程度】</u> ・支部社協のメンバー ・生活支援コーディネーター
計画への反映	・今後必要な事業の検討材料として使用 ・「現状」のとして掲載 ・取り組みのアイデアとして掲載 ・重点プロジェクトなどのヒント・キーワードとする

※会場レイアウトイメージ(適宜会場に応じて対応)



## 2 地域懇談会プログラム案

時間配分	準備・受付
開始 1 時間前	→会場入り・準備開始 ※受付の設置、机・椅子の設置、貼り紙の準備等
開始 30 分前	→受付開始 ※参加者には受付後、自由に座っていただく。
時間配分	地域懇談会開始
2 分程度	<b>開会</b> 「本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。ただいまより、印西市地域福祉計画策定のための地域懇談会をはじめます。…」
	<b>開会のあいさつ</b> ※事務局代表よりあいさつ
5 分程度	<b>オリエンテーション</b> ※懇談会の狙い、進め方について説明を行う。
50 分程度	<b>ワークショップ</b>
	<p><b>①解決策のアイデアの検討</b></p> <p>懇談会に先立って事務局で選んで決定した「<b>重点テーマ（地区の課題）</b>」（2～3つ程度のテーマ）に対して、市民の方々が活動をする中で感じている地域の現状や課題、その解決策のアイデアを話し合います。</p> <p>フセン 1 枚につき、1つのアイデアを記入していただき、参加者それぞれが書き溜めたフセンを読み上げながら、模造紙に貼り付けていきます。フセンは自助・共助・公助に振り分けながら貼り付けていき、似通った意見は同じまとまりに選り分けていきます。</p> <p>解決策のアイデアの検討・振り分けにあたっては、</p> <p>「<b>個人や家庭で行うこと【自助】</b>」</p> <p>「<b>地域や団体で行うこと【共助】</b>」</p> <p>「<b>地域の課題解決のために行政に支援してほしいこと【公助】</b>」</p> <p>の3つの視点から検討していただきます。</p> <p><b>②この地区で重点的に取り組むべきことの検討</b></p> <p>書き出して分類していただいた模造紙上のフセンのうち、今後この地区において重点的に地域で取り組んでいくべきこと・すぐに取り組めること等の視点から、「自助」「共助」のアイデアの中からさらに話し合いながら絞りこみ、「<b>地区の重点的に取り組むこと</b>」を検討します。</p> <p>模造紙上では、重要な取り組みの書かれたフセンを分類し、マジックペンで囲って強調するなどして取りまとめます。</p> <p><b>③各グループより話し合いの内容を発表</b></p> <p>各グループより、テーブルで話し合われた課題とその解決策、キャッチコピーをそれぞれ3分程度で発表し、共有をします。</p> <p>ここまでで、ワークショップは終了となります。</p>
2 分程度	○ <b>講評</b> ※事務局より本日の懇談会の総括。
	○ <b>閉会</b> 「～～。本日はありがとうございました。お気をつけてお帰りください。」
時間配分	片づけ・撤収
10 分程度	→会場の片づけ・撤収。

※時間の配分は目安。当日のワークショップの進行状況に応じて調整する。